

■定義など■『企業の「国籍」の考え方』

M&Aに関する報道などでは所在地の国籍が使われる場合がありますが、レコフ M&A データベースでは原則として資本(大株主)の国籍を企業の国籍としています。

◆日本企業：日本資本が原則として 50%超の法人

◆外国企業：外国資本が原則として 50%超の法人

ただし、外国企業日本法人で日本の証券市場に上場するものは日本企業とする

なお、国籍は各 M&A 発表当時の国籍です。そのため同じ会社でもその時々で国籍が変わる場合があります、注意が必要です。

以下に検索の際、特に注意が必要なケースについて具体例を挙げています。

◇大株主の国籍はアメリカ、所在地はドイツ→グローエの国籍は「アメリカ」

<M & Aデータ>

▼当事者 1 JPN/東京都/非鉄・金属製品/未上場など/ LIXIL[LIXILグループ]、日本政策投資銀行(DBJ)(受け皿会社:GraceB S.a r.l.)	▼対価
▲当事者 2 USA/GER/非鉄・金属製品// グロ-I(Glacier Luxembourg One S.a r.l. 子会社)	▼株取得先 Glacier Luxembourg One S.a r.l.

IN -OUT	買収	日付	金額	出資比率	有効日
		2013/09/26	410,900百万円	0→87.5	2014/01/21

LIXILグループの全額出資子会社のLIXIL(東京)は、日本政策投資銀行(DBJ、同)と共同で、住設機器大手の独グロ-Iを2014年前半をめどに買収する。折半出資する特別目的会社(SPC)とSPCの完全子会社(総称して買収会社)を通じて、米投資ファンドのTPGキャピタルとクレディ・スイスグループが間接的に共同支配するルセンプルクのGlacier Luxembourg One S.a r.l. から87.5%の株式を取得する。グロ-Iの企業価値を負債を含め3978億円(30億5900万ユーロ)と評価しており、金額は約3816億円(29億350

検索の際、データ種別は「M&A データ」を選択してください

◇大株主の国籍はアメリカ、所在地は日本、ただし日本の証券市場に上場→東京スター銀行の国籍は「日本」

<M & Aデータ>

▼当事者 1 JPN/東京都/その他金融/未上場など/ アドバンテッジパートナーズ (AP) (買付目的会社:ジャパン・バンキング・インベストメント・パートナーズ・ILPなど)	▼対価
▲当事者 2 JPN/東京都/銀行/東証1部/8384 東京スター銀行	▼株取得先 ロ-ンスタ-

IN -IN	買収 (TOB)	日付	金額	出資比率	有効日
		2007/12/22	248,265百万円	0→98.31	2008/03/14

投資ファンドのアドバンテッジパートナーズ (AP、東京)は、東京スター銀行をTOBにより買収する。68.1%の株式を保有する米系ファンドのロ-ンスタ-と12月21日付で売買契約を結び、同日付で金融庁に認可を申請した。認可を得られ次第、2008年1月にもTOBを開始する。APが情報提供、コンサルテーションを行うジャパン・バンキング・インベストメント・パートナーズ・ILPなど4ファンドが52万5000株(75%)を下限に買い付け、全株式取得を目指す。完全子会社化する。東京スター銀は、賛同する方向だが、正式にはTOBの実施が最終的に決定された時点で見解を発表する。買付価格は1株36万円。過去10月間の終値の

検索の際、データ種別は「M&A データ」を選択してください

◇大株主の国籍はそれぞれ中国、アメリカ、所在地は日本→この場合の国籍はそれぞれ「中国」、「アメリカ」

<外国企業 (日本法人) のM & Aデータ>

▼当事者 1 CHN/東京都/ソフト・情報/未上場など/ レボ・エンタープライズ・ソリューションズ [レボ]	▼対価
▲当事者 2 USA/東京都/電機/未上場など/ 日本アイ・ビー・エム(日本IBM)	▼株取得先

事業譲渡 (会社分割 吸収分割)	日付	金額	出資比率	有効日
	2014/06/23			

中国のPCX-カーのレボが全額出資で5月に設立した日本法人、レボ・エンタープライズ・ソリューションズ (東京)は、米IBMの日本法人、日本IBM(同)からx86サーバ事業を会社分割により譲り受ける。サーバとサービス、エンタープライズソリューションを包括的に提供する。レボは1月に米IBMから同事業を譲り受けることで合意した。その一環。

検索の際、データ種別は「外国企業-日本法人」を選択してください